

リスニング試行テストの 実施結果について

大学入試センター事業部

1. はじめに

リスニングテスト導入の趣旨や経緯等については、本誌前号（No.26）で述べた。その中でも、我が国においても、国際的に活躍できる人材の育成を図っていくことが求められ、そのためには、高等学校における外国語教育や大学教育において、外国語による実践的なコミュニケーション能力を育成することが極めて重要とされている。

こうした背景を受け、平成18年度大学入試センター試験から導入する英語のリスニングテストの円滑な実施に資することを目的とした試行テストを平成16年9月26日（日）に実施した。

2. 試行テストの概要

試行テストは、大学入試センター試験を利用する全国509大学（514試験場）を試験場に実施した。なお、沖縄地区6大学（6試験場）については、台風の影響により10月10日（日）に実施した。

試行テストは、全国の高等学校第2学年に在籍する生徒を対象に受験者を募り、募集定員50,000人に対し、全国

で約57,000人の生徒から往復はがきで応募があり、大学入試センターにおいて厳正に抽選の結果、43,451人の受験者を決定した。

地区（都道府県）によって応募者数の偏りが見られ、地区の中でも応募者が大きく設定数を上回った試験場や設定数を大幅に下回った試験場もあった。

受験者の各試験場への割当てについては、応募者の第1希望、第2希望に基づき試験場へ割当て、さらには、設定数を大幅に超える応募があった試験場へは、大学の協力を得て可能な限り、受験者の追加割当て等を行った。

◆試行テストの実施結果等◆

1. 受験予定者数 43,451人
2. リスニングテスト受験者 35,365人
(受験率/81.4%)
3. 試験結果 (50点満点)

平均点	最高点	最低点	標準偏差
30.4点	50点	0点	8.7点

試行テスト当日、受験者は13時10分までに試験室に入室し、13時30分から筆記試験（20分）に臨み、休憩の後、14時20分から初めて経験するリスニングテストに臨んだ。

リスニングテストでは、受験者個々

にICプレーヤー（個別音源機器）等が配られ、監督者から操作方法等の説明を聞き、15時から試験を開始した。（ICプレーヤーは、文末の参考1に写真を掲載）

◆試行テストの流れ◆

- (1) 使用機器类等（6種類）の配付
 - ① ICプレーヤー（個別音源機器）
 - ② レシーバー（イヤホン又はヘッドホン）
 - ③ 音声メモリー（音声問題）
 - ④ 問題冊子
 - ⑤ 解答用紙（マークシート）
 - ⑥ 受験の手引き（操作方法を記したもの）
- (2) ICプレーヤー操作の準備作業
 - ① 2か所に貼られている青い「保護シール」をはがす
 - ② レシーバー（イヤホン又はヘッドホン）の「コードどめ」を外す
 - ③ レシーバー（イヤホン又はヘッドホン）の装着（装着方法確認後、外す）
 - ④ レシーバーをICプレーヤーに接続
 - ⑤ 音声メモリーをICプレーヤーに差し込む
 - ⑥ 裏側の「絶縁シート」を引き抜く
- (3) 緑色の1「電源ボタン」を押す → 右横ランプの点灯を確認
- (4) レシーバー（イヤホン又はヘッドホン）を装着
- (5) 黄色の2「確認ボタン」を押す → 上部の「作動中ランプ」が赤く点灯 → 音声の流れ、適した音量に調節（約2分間） → 音量確認後、レシーバーを外す
- (6) 試験開始【解答はじめ。】 試験時間30分
レシーバー（イヤホン又はヘッドホン）を装着し、赤色の3「再生ボタン」を押す
- (7) 試験終了【解答やめ。】
- (8) アンケート調査 約10分
- (9) 答案等回収
（問題冊子、答案、アンケート用紙、受験の手引き、ICプレーヤー一式）
- (10) 受験者退室

リスニングテスト終了後、約10分間のアンケート調査を行い、答案、使用した機器類等を回収し、試行テストはここで終了した。

2. 試行テストにおける調査

今回の試行テストは、平成18年度試験から英語リスニングテストを導入するに当たり、試験場を設定するすべての大学が『英語』のリスニングテストの実施方法等についての実際的な経験を通して理解を深めるとともに、試験問題の難易度を調査・分析し、その結果を平成18年度の試験問題に反映することを目的として実施した。

したがって、前者では試験実施上の問題点や課題を浮き彫りにし、平成18年度試験の実施要領及び監督要領に反映させること、とりわけ、レシーバーをイヤホンかヘッドホンのいずれかに決定することが最大の検討課題であった。後者は、調査・分析した結果を試験問題作成に反映させることとしている。

このように、試行テストでは試験実施上の諸課題を探るため、アンケート調査等を実施した。試験終了後に行った受験者アンケート（文末の参考2参照）の他、実施各大学への調査及び当センター職員の視察等の調査も実施した。

現在、得られたデータを集計・整理しているところであり、これらをもとに課題等の検討を行い、平成18年度試験における『英語』リスニングテストの実施方法等の詳細を決定したいと考えている。

3. 試行テストの問題、機器類等の公表

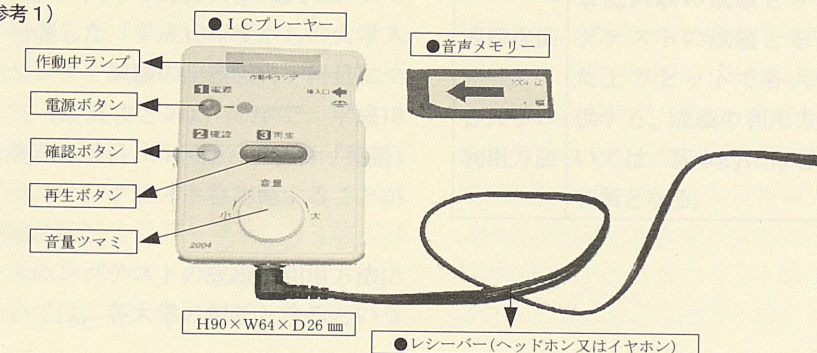
試行テストで使用したリスニングテストの問題冊子、音声問題及びICプレーヤーの写真等を大学入試センターのホームページで掲載している。

なお、問題冊子、音声問題は、ダウンロードが行えるようにした。

ホームページアドレス

<http://www.dnc.ac.jp/>

（参考1）



(参考2)

●受験者アンケート（試行テストについてのアンケート）

(アンケート項目)

◇レシーバー（イヤホン、ヘッドホン）について

装着具合（装着感、安定度）、左右の区別、コードの長さ、周囲の雑音等

◇I Cプレーヤー等の使用について

操作前の準備作業（保護シール等の取り外し、レシーバーの差し込み等）、
ボタン（電源・確認・再生）の操作、音量調節、作動中ランプの確認、操作全
体の順序等、受験の手引きの説明内容、音質、机の広さ等

◇指示内容、試験問題、解答作業について

音量調節のための確認時間、日本語音声の説明、試験問題の構成と解答の手
順、英語音声のスピード、問題の選択肢の絵や図、解答時間等

◇試験全体について

I Cプレーヤー等を使用した試験の感想、本試験に向けての改善点、試
行テスト全般の感想